

提出部数は4部です
提出期限 7月10日

区分	一般			特定
	特積	利用	霊柩	

事業者番号

貨物自動車運送事業実績報告書

許可を受けている
事業の種類に○をする

あて

住所
事業者名
代表者名
電話番号

(役員名及び氏名)

会社のゴム印

事業概況 (H00年) 年3月31日現在

事業用自動車数	<u> </u> 両	従業員数	<u> </u> 人	運転者数	<u> </u> 人
---------	---------------	------	---------------	------	---------------

事業内容（前年4月1日から3月31日まで）

全ての営業所の総数を記入

・ダンプによる土砂等輸送	・冷凍、冷蔵輸送	○を○で囲む 主な輸送品目上位
・ <u>基準緩和認定車両による長大物品等輸送</u>	・原木、製材輸送	
・国際海上コンテナ輸送	・ <u>引越輸送</u>	
・コンクリートミキサー車による生コンクリート輸送	・ <u>その他</u>	
・危険物等輸送	(例)電化製品	

該当しない場合はその他を○で囲み()内に輸送品目を記入する

輸送実績（前年4月1日から3月31日まで）

	延実在車両数 (日車)	延実働車両数 (日車)	走行キロ (キロメートル)	実車キロ (キロメートル)	輸送トン数		営業収入 (千円)
					実運送(トン)	利用運送(トン)	
北海道							
東北							
北陸信越							
関東							
中部							
近畿							
中国							
四国							
九州							
沖縄							
全国計							

行き先ではありません
運輸局単位で各営業所(営業ナンバーが配置されている)の実績を集計して記入してください

※中部運輸局
三重県、愛知県、岐阜県、静岡県、福井県

営業所が三重しかない場合は、中部の欄だけ記入して下さい

自社(営業車)のトン数

備車利用のトン数

運送収入を記入

警察に届けた事故

事故件数（前年4月1日から3月31日まで）

事故報告規則により届けた事故(転覆・転落・死傷・踏切、車両故障等)

交通事故件数	重大事故件数	死者数	負傷者数
--------	--------	-----	------

ポイント

延実在車両数＝日々在籍する営業車を1年間累計する
延実働車両数＝稼働した車両の数を1年間累計する
走行キロ＝車両ごとの1年間の走行距離を全車両累計する
実車キロ＝積荷状態で走った距離を1年間全車累計する

例)延実在車両数

5台(車両数)が1年間変わらなかった
5台×365日＝1,825日車

例)延実働車両数

休日(105日)以外は全車両稼働した
5台×(365-105)日
＝1,300日車